



Solaris Host Utilitiesをインストールします

ONTAP SAN Host Utilities

NetApp
January 06, 2026

目次

Solaris Host Utilitiesをインストールします	1
ONTAPストレージ用のSolarisホストユーティリティ8.0をインストールする	1
次の手順	5
ONTAPストレージ用のSolaris Host Utilities 6.2のインストール	5
次の手順	7

Solaris Host Utilitiesをインストールします

ONTAPストレージ用のSolarisホストユーティリティ8.0をインストールする

Solaris ホスト ユーティリティは、Solaris ホストに接続されたONTAPストレージの管理と、構成データの収集に関するテクニカル サポートに役立ちます。

Solaris ホスト ユーティリティは、次の Solaris 環境とトランスポート プロトコルをサポートします。サポートされている主な環境は次のとおりです。

- SPARC または x86/64 プロセッサを使用するシステム上の Oracle Solaris I/O マルチパス (MPxIO) と FC または iSCSI プロトコルを備えたネイティブ OS。
- SPARC プロセッサを使用するシステム上の FC または iSCSI プロトコルを使用した Veritas Dynamic Multipathing (DMP)。

Solaris Host Utilities 8.0 は Solaris 11.4 シリーズをサポートします。

開始する前に

iSCSI、FC、または FCoE 構成がサポートされていることを確認します。使用することができません"[Interoperability Matrix Tool](#)"設定を確認します。

手順

1. ホストに root としてログインします。
2. ホストユーティリティを含む圧縮ファイルのコピーを以下からダウンロードします。["ネットアップサポートサイト"](#)ホスト上のディレクトリに。

SPARC CPU

```
netapp_solaris_host_utilities_8_0_sparc.tar.gz
```

x86/x64 CPU

```
netapp_solaris_host_utilities_8_0_amd.tar.gz
```

3. ダウンロードが含まれるホスト上のディレクトリに移動します。
4. ファイルを解凍するには、`gunzip``コマンドを実行し、ファイルを展開します。 ``tar -xvf`` :

```
gunzip netapp_solaris_host_utilities_8_0_sparc.tar.gz
```

```
tar -xvf netapp_solaris_host_utilities_8_0_sparc.tar
```

5. tar ファイルから抽出したパッケージをホストに追加します。

```
pkgadd
```

パッケージは '/opt/NT2/SANToolkit/bin' ディレクトリに追加されます

次の例では、コマンドを使用し `pkgadd` で Solaris インストールパッケージをインストールします。

```
pkgadd -d ./NTAPSANTool.pkg
```

6. インストールされたパスに次のコマンドを使用して、ツールキットが正常にインストールされたことを確認します。

```
pkgchk
```

出力例を表示します。

```
# pkgchk -l -p /opt/NTAP/SANToolkit

Pathname: /opt/NTAP/SANToolkit
Type: directory
Expected mode: 0755
Expected owner: root
Expected group: sys
Referenced by the following packages: NTAPSANTool
Current status: installed

# ls -alR /opt/NTAP/SANToolkit
/opt/NTAP/SANToolkit:
total 1038
drwxr-xr-x  3 root    sys          4 Mar  7 13:11 .
drwxr-xr-x  3 root    sys          3 Mar  7 13:11 ..
drwxr-xr-x  2 root    sys          6 Mar 17 18:32 bin
-r-xr-xr-x  1 root    sys      432666 Dec 31 13:23 NOTICES.PDF

/opt/NTAP/SANToolkit/bin:
total 3350
drwxr-xr-x  2 root    sys          6 Mar 17 18:32 .
drwxr-xr-x  3 root    sys          4 Mar  7 13:11 ..
-r-xr-xr-x  1 root    sys    1297000 Feb  7 22:22 host_config
-r-xr-xr-x  1 root    root      996 Mar 17 18:32 san_version
-r-xr-xr-x  1 root    sys    309700 Feb  7 22:22 sanlun
-r-xr-xr-x  1 root    sys      677 Feb  7 22:22 vidpid.dat

# cd /usr/share/man/man1; ls -al host_config.1 sanlun.1
-r-xr-xr-x  1 root    sys      12266 Feb  7 22:22 host_config.1
-r-xr-xr-x  1 root    sys      9044 Feb  7 22:22 sanlun.1
```

7. 「MPxIO」または「Veritas DMP」環境のホストパラメータを設定するには、
`/opt/NTAP/SANToolkit/bin/host\_config` コマンドリファレンスからのマルチパススタックを使用したコマンド:

```
/opt/NTAP/SANToolkit/bin/host_config -setup -protocol fcp|iscsi|mixed
-multipath mpxio|dmp|non [-noalua] [-mcc 60|90|120]
```

たとえば、セットアップが次のような場合...	使用するコマンド
MPxIO としてマルチパスを備えた FCP	<pre>#/opt/NTAP/SANToolkit/bin/host_config -setup -protocol fcp -multipath mpxio</pre> SnapMirror Active Syncの設定変更については、ナレッジベースの記事を参照してください。"Solaris ホストサポートのSnapMirror Active Sync (旧 SM-BC) 構成における推奨設定"。
DMP としてマルチパスを備えた FCP	<pre>#/opt/NTAP/SANToolkit/bin/host_config -setup -protocol fcp -multipath dmp</pre>
MetroCluster上の FCP は MPxIO としてマルチパスを使用し、すべてのパス ダウンの値は 120 秒に設定されています。(これはMetroCluster構成に推奨される設定です)。	<pre>#/opt/NTAP/SANToolkit/bin/host_config -setup -protocol fcp -multipath mpxio -mcc 120</pre> 詳細については、ナレッジベースの記事をご覧ください。"MetroCluster 構成での Solaris ホストのサポートに関する考慮事項"。

8. ホストをリブートします。

ホスト ユーティリティは、ONTAP LUN に対して次のNetApp推奨タイムアウト パラメータ設定を読み込みます。

例を示します

```
#prtconf -v |grep NETAPP
value='NETAPP LUN' +
physical-block-size:4096,
retries-busy:30,
retries-reset:30,
retries-notready:300,
retries-timeout:10,
throttle-max:64,
throttle-min:8,
disksort:false,
cache-nonvolatile:true'
```

9. ホスト ユーティリティのインストールを確認します。

次の手順

"[SANツールキットについて学ぶ](#)"。

ONTAPストレージ用のSolaris Host Utilities 6.2のインストール

Solaris ホスト ユーティリティは、Solaris ホストに接続されたONTAPストレージの管理と、構成データの収集に関するテクニカル サポートに役立ちます。

Solaris ホスト ユーティリティは、複数の Solaris 環境と複数のトランスポート プロトコルをサポートします。主な Solaris ホスト ユーティリティ環境は次のとおりです。

- SPARC プロセッサまたは x86/64 プロセッサを使用するシステム上の MPxIO とファイバ チャネル (FC) または iSCSI プロトコルを備えたネイティブ OS。
- SPARCプロセッサを使用するシステムではFCプロトコルまたはiSCSIプロトコルを使用するVeritas Dynamic Multipathing (DMP)、x86/64プロセッサを使用するシステムではiSCSIプロトコルを使用します。

Solaris Host Utilities 6.2 は、次の Solaris シリーズをサポートします。

- Solaris 11.x
- Solaris 10.x

開始する前に

iSCSI、FC、または FCoE 構成がサポートされていることを確認します。使用することができません"[Interoperability Matrix Tool](#)"設定を確認します。

手順

1. ホストに root としてログインします。
2. ホストユーティリティを含む圧縮ファイルのコピーを以下からダウンロードします。"[ネットアップサポートサイト](#)" Solaris ホスト上のディレクトリに:

SPARC CPU

```
netapp_solaris_host_utilities_6_2_sparc.tar.gz
```

x86/x64 CPU

```
netapp_solaris_host_utilities_6_2_amd.tar.gz
```

3. ダウンロードが含まれる Solaris ホストのディレクトリに移動します。
4. を使用してファイルを解凍します。 `gunzip` コマンドを実行します

```
gunzip netapp_solaris_host_utilities_6_2_sparc.tar.gz
```

5. ファイルを解凍するには、``tar xvf`` 指示：

```
tar xvf netapp_solaris_host_utilities_6_2_sparc.tar
```

6. `tar`ファイルから抽出したパッケージをホストに追加します

```
pkgadd
```

パッケージは `/opt/NT2/SANToolkit/bin` ディレクトリに追加されます

次の例では、コマンドを使用し ``pkgadd`` で Solaris インストールパッケージをインストールします。

```
pkgadd -d ./NTAPSANTool.pkg
```

7. 次のいずれかのコマンドを使用して、ツールキットが正常にインストールされたことを確認します。

```
pkginfo
```

```
ls - al
```


出力例を表示

```
# ls -alR /opt/NTAP/SANToolkit
/opt/NTAP/SANToolkit:
total 1038
drwxr-xr-x  3 root    sys           4 Jul 22  2019 .
drwxr-xr-x  3 root    sys           3 Jul 22  2019 ..
drwxr-xr-x  2 root    sys           6 Jul 22  2019 bin
-r-xr-xr-x  1 root    sys      432666 Sep 13  2017 NOTICES.PDF

/opt/NTAP/SANToolkit/bin:
total 7962
drwxr-xr-x  2 root    sys           6 Jul 22  2019 .
drwxr-xr-x  3 root    sys           4 Jul 22  2019 ..
-r-xr-xr-x  1 root    sys     2308252 Sep 13  2017 host_config
-r-xr-xr-x  1 root    sys       995 Sep 13  2017 san_version
-r-xr-xr-x  1 root    sys    1669204 Sep 13  2017 sanlun
-r-xr-xr-x  1 root    sys       677 Sep 13  2017 vidpid.dat

# (cd /usr/share/man/man1; ls -al host_config.1 sanlun.1)
-r-xr-xr-x  1 root    sys      12266 Sep 13  2017 host_config.1
-r-xr-xr-x  1 root    sys      9044 Sep 13  2017 sanlun.1
```

8. MPxIO または Veritas DMP 環境のホスト パラメータを構成します。

```
/opt/NTAP/SANToolkit/bin/host_config
```

9. インストールを確認します。

```
sanlun version
```

次の手順

"SANツールキットについて学ぶ"。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。